

# 令和3年度双葉会本部事業計画・収支予算(抜粋)

## 1. 基本方針

今年度は介護報酬の改定年度であり、改定の柱である、1.感染症や災害への対応力強化、2.地域包括ケアシステムの推進、3.自立支援・重度化防止の取組の推進、4.介護人材の確保、介護現場の革新、5.制度の安定性・持続可能性の確保、を中心に全役・職員が一丸となって推進していきます。

琴清苑新築工事事業については、今年2月に引渡、3月に落成式・内覧会、4月には引越並びに運用開始、7月には既存施設の取壊しも完工予定であり、「全従来型個室96名定員、中規模防災拠点型地域交流スペースを備えた施設」において、施設の創立当初からの理念を念頭により良いサービスを提供、利用者皆様に喜んでいただけるよう運営展開を進めてまいります。

さらには、深刻的な介護職員の人材難、待機者の激減等々と課題は山積していますが、より良い福祉サービスの提供、町内居住者の雇用の確保、新卒者を含めた若年層の専門職育成、EPA介護福祉士候補生・外国人介護技能実習生の受入れ・育成に努めていきます。

水川保育園、双葉会診療所においても、感染症予防対策をはじめ労働環境、安全環境管理の向上を推進します。

## 2. 計画

各施設が地域拠点となり地域と連携したサービスの提供を推進するため、以下の計画を指針として事業の展開を図ります。

① 組織のガバナンス強化

社会福祉法人改革に適合した組織再編

② 事業運営の透明性の向上

財務諸表公表の徹底

③ 財務規律の強化

適正かつ公正な支出管理の確保

④ 社会貢献事業の推進強化（地域における公益的取組の強化）

配食サービス・送迎事業の拡充と新琴清苑地域交流スペースの活用案の策定

⑤ 琴清苑取壊し工事と町への寄付

予算内での施工

⑥ 雇用対策の更なる強化

若年層の雇用促進・育成と再雇用制度の充実、EPAによるフィリピン人介護福祉士候補者・インドネシア人介護技能実習生の受入れ

⑦ 職員研修規程の周知と活用

専門知識の高度化、技術(スキルアップ)向上と専門知識の啓蒙活動

⑧ 処遇改善加算一律支給の継続と人件費率の改善

⑨ 感染症・防災対策の強化（事業継続計画（災害編BCP）の周知と（感染症編BCP）の策定）

⑩ 苦情解決への取組み強化

第三者委員との意見交換会の定期開催

以上10点を重点項目として計画を推進します。

## 3. 財源

各事業所において人件費、委託業務費、光熱水費等、経常経費の見直しを実施し財政面での緊縮を検討する。また、介護老人福祉施設においては介護報酬新単価・加算の要件について検討研究し安定的な財源の確保に努めます。

## 4. 各施設計画

介護老人福祉施設

① 介護保険収入に見合った運用

② 各施設利用稼働率と要介護度の高レベルでの維持

③ ショートスティ利用稼働率の向上

④ 直営給食事業の安定化

⑤ 地震対策と感染症対策の強化

保育園

① 更なる保育サービスの充実

② 西側ブロック塀と川側鉄製柵の修繕

③ 児童と高齢者の交流対策

④ 地震対策と感染症対策の強化（空気清浄機の導入と手洗い場の設置）

双葉会診療所

① 当直医師の充実（継続事項）

② 組織の充実強化と働きやすい環境作り

③ 診療報酬対応（病床利用率向上と外来患者数の増化）

④ 地震対策と感染症対策の強化

※ 詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)	
勘定科目	本部会計
事業活動収入計①	1,755,000
事業活動支出計②	4,644,000
事業活動資金収支差額③(①-②)	-2,889,000
施設整備等収入計④	0
施設整備等支出計⑤	0
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	0
その他の活動による収入計⑦	12,184,000
その他の活動による支出計⑧	0
その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	12,184,000
予備費支出⑩	9,295,000
当期資金収支差額合計⑪(③+⑥+⑨-⑩)	0
前期末支払資金残高⑫	29,159,323

当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)	29,159,323
-----------------	------------